

参加される方への説明文書

1. 研究課題名

「労働者の健康施策の経営上の目的、効果および公表に関する実態調査」
本研究は産業医科大学倫理委員会の承認、及び学長の許可を得て行うものです。

2. 実施責任者

所属 産業生態科学研究所産業保健経営学 職名 准教授 氏名 永田 智久

3. 研究期間

西暦 2020 年 11 月～西暦 2023 年 10 月

4. 研究の背景・目的・意義

近年、「健康経営」という用語が広まり、従業員の健康に投資する企業を評価する枠組みが提示されています。健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。また、ESG（環境・社会・企業統治）の観点で経営を考える重要性が広まっており、企業活動の一部である産業保健活動を ESG の視点で考え、社外に対して活動を説明する必要性が高まっています。しかし、産業保健活動について、経営者が健康経営や ESG の視点でどのように考えているかについて明らかにした研究は限られています。

本研究では、企業の経営層が、（1）従業員の健康問題を経営課題と結び付けて認識しているか、（2）従業員の健康管理をどのような目的で実施しているか、（3）従業員の健康管理の効果をどのように感じているか、（4）従業員の健康管理を ESG（環境・社会・企業統治）の観点からどのように位置づけているか、についてアンケート調査で明らかにすることを目的としています。

5. 研究の方法

本研究は研究参加者に対して、アンケートを実施させていただきます。アンケートの内容は添付の通りで、回答時間は約 10 分間です。アンケート用紙にご記入いただき、同封の封筒で郵送いただくか、記載のアドレスから web アンケート（survey monkey というシステムを利用しています）でご回答ください。ご回答期限を 3 週間と設定させていただきました。

6. 研究対象者として選定された理由

健康経営優良法人 2020（中小規模法人部門）認定法人リスト 4,816 法人の経営層、

健康管理責任者を対象としております。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

本研究に参加されることによりあなたに直接的な利益はありません。しかしながら、本研究を行うことで、将来的に働く人の利益につながることを考えられます。アンケート調査を受ける時間（約 10 分間）のご負担があります。本研究を受けることで予測されるリスクは、アンケートに個人情報に記載された際の漏洩リスクです。

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて

研究対象者は、研究に参加することの利益と不利益を説明された上で、この研究に参加するかどうかを、あなたの自由意思で決めていただくことができます。匿名で調査を実施させていただきますので、一旦、回答いただきますと同意を撤回することはできません。（会社情報、個人情報を記載された場合で、同意の撤回を希望される場合は、この説明文書の一番最後に記載の連絡先にお問合せください。対応させていただきます。）

9. 研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等が不利益な扱いを受けないことについて

この研究に参加されない場合でも、今後あなたが不利益を受けることは一切ありません。

10. 研究に関する情報公開の方法

本研究で得られた結果は、報告書にまとめ、産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学研究室のホームページに 2021 年 4 月以降に順次、公表いたしますので、是非、ご覧ください。<https://www.ohpm.jp/>

この研究によって得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人情報は一切使用いたしません。

11. 研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法

研究の内容（研究計画や方法など）に関する資料についてあなたが希望される場合には、この説明文書の一番最後に記載の連絡先にお問合せください。対応させていただきます。

12. 個人情報の取り扱い

アンケート結果は Microsoft excel に入力し、研究実施責任者の厳重な管理の下で、

本学産業保健経営学研究室内のパソコンにパスワードを設定のうえ、保管することにより、安全管理措置を行います。

アンケート用紙で回答いただいた情報を Microsoft excel に入力する作業は、外部業者（株式会社リードコンピュータサービス）に委託させていただきます。当該企業と産業医科大学とで守秘義務契約を締結し、入力作業が終了次第、委託先企業がデータ消去を行う等、情報管理を行います。

1 3. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

本研究では生体試料は取り扱いません。本研究では個人情報を取り扱いませんが、自由記載欄に個人情報があった際には、匿名化したうえでデータを保存します。アンケートの内容を入力した電子データは、研究終了後 5 年間保管の上、データを削除します。

1 4. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、国から交付された厚生労働科学研究費補助金により、本学の主任研究者（及びそのグループ）のもとで公正に行われます。本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

1 5. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

研究に関して相談等がある場合は実施責任者が随時対応します。

1 6. 研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある場合、その旨及びその内容

この研究に関わる費用の負担はありません。また研究参加の謝礼もありません。

1 7. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合には、他の治療方法等に関する事項 該当しません。

1 8. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合には、研究対象者への研究実施後における医療の提供に関する対応

該当しません。

1 9. 研究の実施に伴い、研究対象者の健康、子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性がある場合には、研究対象者に係る研究結果（偶発的所見を含む。）の取り扱い

該当しません。

20. 侵襲を伴う研究の場合には当該研究によって生じた健康被害に関する補償の有無及びその内容

該当しません。

21. 研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨と同意を受ける時点において想定される内容

該当しません。

22. 侵襲（軽微な侵襲を除く。）を伴う研究であって介入を行うもの場合には、研究対象者の秘密が保全されることを前提として、モニタリングに従事する者及び監査に従事する者並びに倫理審査委員会が、必要な範囲内において当該研究対象者に関する試料・情報を閲覧することについて

該当しません。

23. 知的財産権の発生について

この研究の成果に基づいて、特許権などの知的財産権が生ずる可能性があります。その権利は産業医科大学に帰属し、あなたには帰属しません。

24. その他

特になし

説 明 者：産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 准教授 永田智久

研究実施責任者：同上

連 絡 先：電話番号：093-603-1611(内 4921)

tomohisa@med.uoeh-u.ac.jp (永田智久)